

建通新聞

東京

総会

日測協

清水会長を再任

日本測量協会(日測協、清水英範会長)は24日、第75回定時総会を開催した。役員改選を実施し、総会後の理事会で清水会長を再任した。清水会長「写真」は「測量と地理空間情報に関する分野は、東京を中心に非常に活気がある」と述べ、「この流れを東京から全国に広げ、業界全体の活性化につなげたい」と語った。

また、測量・地理空間情報に関する技術とその利活用方法を議論する「測量・地理空間情報イノベーション大会」などの公益事業を強化する考えを示し、新たな事業の実施も見据え、「どのように実現するか考えてい」と述べた。

懇親会に参加した山本悟司国土地理院長は、「測量に携わる担い手の確保がわれわれに課された課題」とし、協会への協力を呼び掛けた。



総会では、2025年度事業計画を報告。測量技術と地理空間情報に関する研究課題を通じて、これらの技術の普及と向上に努めるとした。技術者教育として、協会が認定する空間情報総括監理技術者制度や地理空間情報専門技術認定制度の充実を図る。

「測量・地理空間情報技術奨励賞」と「公共測量品質管理優秀賞」の表彰式も合わせて開催した。測量・地理空間情報技術奨励賞に選ばれたパスコの金森貴洋氏ら3人と、公共測量品質管理優秀賞のうち測量技術センターと関東支部技術センターで検定を実施したコウノなど7社に、清水会長が表彰状を手渡した。